

(山本会長が声が出ないので聞きにくいと思いますが・・・と前置きして)

第20回の記念すべき東京大会の閉会にあたり、一言、ご挨拶を申し上げます。

先ずは、お世話頂きました、関東・東京の皆様には厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

皆様の熱い思いと明日の日本を担う青少年を健やかに育成しようとする、強い「志」を結集して、28年度の運動方針・事業・予算計画を決定頂きました。

三つの専門委員会では、当面する課題に取り組み、組織の調査と拡大強化、後継者の養成、運動の活性化に向けた広報啓発や財源、更にNPO法人化に向けて、真剣な協議を頂き、今後の進め方を決定いただきました。

記念パーティーでは、交流を深め、同志の絆を、強く結びあうことができました。久田先生からは、これからの我らの進むべき方向を示していただきました。

この東京大会を歴史に残すためには、地域に持ち帰り、この大会で決定したことを、全ての会員と共有して実践し、具体的な結果を出してゆくことが一番重要であります。

時は休むことなく進んでゆきます。明日の日本を築くために・・・、活発な国民運動を再興するために・・・、我らの後継者をつくるために、何時も前を向き、夢と希望をもって、実践に努めましょう。

そのため、休むことなく、目の前にある課題に取り組み、共通の目標に向かって、情報を共有し、心を合わせて、団結しなければなりません。

運動は、参加することから始まります。率先垂範を第一として、頑張りぬきましょう。

各地の研修会で、活動状況を報告しあい、全日本のホームページやアド連だよりで、連帯感を強く持ち、互いに刺激しあいながら、2月の養成講座で、この東京で。

一年間の成果を結集する来年6月の全国大会、東海・北陸ブロックの開催地で会える時を楽しみにして、閉会のご挨拶といたします。・・・また・・・お会いしましょう・・・ありがとうございました。